

「地方こそ成長の主役」との考えのもと
新たな地方創生「日本創生」を推進

自由民主党幹事長 森山 裕

日頃、地方自治の進展のために、それぞれの町村で先頭に立って頑張っておられる、お集まりの町村長の皆様に深甚なる敬意を表する次第であります。

また、先の総選挙における全国の町村長の皆さまのご支援、ご協力に重ねて感謝申し上げます。

この度の衆議院議員総選挙において、わが党は国民の皆様より、大変厳しいご審判をいただきました。この結果を真摯に受け止め、党改革、政治改革にしっかりと取り組み、党派を超えた議論に取り組んでまいりたいと思います。

石破総理は、「地方こそ成長の主役である」との考えのもとで、新たな地方創生、「日本創生」を進めていくとの考えを示しております。

これから議論がスタートする補正予算、そして来年度予算においては、地方経済の厳しい状況をふまえ、十

分かつ適切な地方財政措置を講じる必要があると考えています。

次の臨時国会において、石破総理がお示しになった三本柱、①日本経済・地方経済の成長、②物価高の克服、③国民の安全・安心の確保に沿って、補正予算を編成する予定です。

また、補正予算においては、物価高対策や地域経済への対応のため、それぞれの地域が、地域のニーズに応じて柔軟に活用できる「重点支援地方交付金」をしっかりと措置します。

そして、「新しい地方経済・生活環境創生本部」のもとで、自治体の意欲的な取組を積極的に支援するために、新しい地方創生の交付金を当初予算ベースで倍増させたいと考えております。

本年は能登地方において、1月の地震に加えて、9月には豪雨災害も発生しました。また、全国各地でも台風や豪雨による土砂崩れや浸水被害が発生し、大きな被害をもたらしております。

国土強靱化五か年加速化計画につきましては、来年度が最終年度となりますので、補正予算でも措置し、

安心して事業を継続する事ができるよう、しっかりと支援して参りたいと考えております。

また、中長期の見通しをもって自然災害に強い国づくり・地域づくりを推進するため、継続的・安定的に取り組が進められるよう、「国土強靱化中期計画」の策定も、早急に進めてまいります。

「地方こそ成長の主角」。自由民主党は、皆様の納得と共感のもとで、「この国に生まれてよかった」と思っただけのような国づくりを全身全霊で進めてまいります。

なお、先ほど緊急宣言をされました内容につきまして、真摯に受け止めさせていただき、対応を続けてまいりたいと思っております。

町村長の皆様方の引き続きのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。